

SNSによる情報発信

サポーターがSNSで「#北海道福祉のまちづくりサポーター」を使用して投稿したものを集めました！

Satomi Yamanaka

2022年4月28日

春ですね。

でも春風とは思えないくらいな強風ですが、つくしに負けず、しっかりと地に立ってられるようぶれずに今年度迎えています✳

毎朝、子どもたちの登校を交通安全指導員さんとして、30年近く見守ってくださってこられた地域のおじいさまが先日お亡くなりになりました☹

我が子たちみんなお世話になりました。

コロナ禍でのお通夜でしたが、最後にお顔見れてご挨拶できてまた力を頂けたようなそんな想いです✳

今朝は、スクールガードさんや見守りしてくださっている方々との連絡先交換も

でき、大切にしていきたいことは一緒だよーと世代を越えてあたたかい

つながりを実感できました。

投稿もゆっくりできず、日々過ぎ去っていくというなんとも、もったいないと

悔やみながらも、手元のメモや胸の中はいっぱいです笑

日々本当にいろいろな出逢いもあり、出来事もあり。

長くなりそうですが、エピソード少し。

たまたま遭遇したお方が、長年生活にお困りとのお話もあり、

お世話になっている社会福祉協議会の担当者の方とも情報共有し、

区の保護課へつないでいただけたこと。

ある時は、よく買い物でお世話になっている商店のような昔からのスーパーで、

出逢った認知症を患ったおばあちゃまと息子さん。

おばあちゃまは、困り事でいっぱい！！

バッグにたくさん詰め込んで、「心配なの、心配で心配で。」と。

お話を伺いながら、ゆっくりいつでも連絡くださいとおばあちゃまに伝え、同居されている息子さんへ

自分の連絡先を。すると店員さんもやってきてこちらにも連絡先を伝えてほしいとのこと。

お店でもそのお方含め、ご高齢の方々が多くなってきて、どう対応したらいいか困っていたと☺

店長さんとも話をしつつ、誰にでもできるちょっとしたかわりや相談窓口などお伝えしてみました。

そのスーパーがある地区の地域包括支援センターさんへ連絡する前に、そのおばあちゃまのもう一人の

息子さんとの電話でお困りのことがたくさんあったことを伺い、息子さんにも相談窓口を伝えることが

できました。

また、地域包括さんにもこちらからも連絡してみると、コロナ禍の現状や地域のこと教えてくださり、

お店も含めて連携をとりやすくなりました✳

それぞれの立場で垣根を越えて、困り事を伝え合えば、耳をすまし合えば、自然とま〜るく、

温くなるものです♥

私だって、たくさんの方々に助けられて日々過ごせています。もちろん、子どもたちもね。

昨年度の赤い羽根共同募金会様助成による活動の報告書を急いでまとめつつ。。。



#北海道まちづくりサポーター

#地域福祉

#北海道共同募金会



SNSによる情報発信

サポーターがSNSで「#北海道福祉のまちづくりサポーター」を使用して投稿したものを集めました！

Satomi Yamanaka

2022年9月22日

慌ただしく、でもとても充実していた数ヶ月を振り返りつつ。

報告遅れながらも、少しずつアップしていきます🙇

赤い羽根いのちをつなぐ支援活動全国キャンペーン助成金により、くれよんぽっけ地域スマイル企画を実施させていただきました。

お花であそぼう！フラワーアレンジメントをさせてあげたいよねと以前から一緒に企画を練ってくださって、子どもたちに教えてくれた、さなさん♡ありがとうございました♡

「ありがとうを伝えよう」と、敬老の日と前日2日間に延べ30名集まり、ご近所のグループホームあかしあさんや、おひとり暮らしの方々、お孫さんいらっしゃる方々やお世話になっている郵便局さん、交通安全指導員さんらへプレゼントしました😊✧もちろん、自分で作ったものも持ち帰って、お家の人へ、そしておじいちゃんやおばあちゃんへプレゼントした子もたくさんいました♡

子どもたちはキレイな可愛いお花に魅了されながらも、あたたかい気持ちでアレンジメントを楽しんでいました！

コロナ禍、色々と制限される子どもたちに少しでも楽しい時間を過ごしてもらえたかな〜と。

また、共働きの家庭も増え、お休みの日でも居場所を求める子どもたちも多くなりました。

そしてそれがあたりまえとも感じてしまう低学年。

おとなと一緒に過ごす時間をこれからもたくさん企画していけたらと思います✧

#赤い羽根

#赤い羽根共同募金会

#赤い羽根いのちをつなぐ福祉支援活動

#ポストコロナ福祉支援活動

#北海道福祉のまちづくりサポーター

#くれよんぽっけ

#札幌市社会福祉協議会



SNSによる情報発信

サポーターがSNSで「#北海道福祉のまちづくりサポーター」を使用して投稿したものを集めました！

Satomi Yamanaka

2022年10月1日

赤い羽根共同募金のこと。
私も活動するにあたり、初めて知ったことも。
携わってくださる方々の熱い想いや温かい心遣いに日々感謝しています✧
くれよんぽっけも住民主体型という活動団体のため、大変お世話になっております。
この度も、赤い羽根ポストコロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン
～地域に密着した多様な生活支援活動を応援～の助成をいただき、活動させていただきました。
『つながる輪！お弁当応援企画』、『見守る輪！地域スマイル企画』では多くの方々とのつながりが深まったり、
新たな出逢いがあったり、また地域の課題が垣間見れることも多々ありました。
誰ひとり取り残さない社会づくりに努めていけるよう今後も引き続き活動していきたいと切に思っています。
助成において、募金にご協力くださった多くの方々、企業、団体の皆さまには心より感謝しております。
ありがとうございます♡

#北海道共同募金会
#赤い羽根共同募金
#社会福祉協議会
#赤い羽根いのちをつなぐ支援活動全国キャンペーン
#くれよんぽっけ
#北海道福祉のまちづくりサポーター



2022年10月2日

赤い羽根いのちをつなぐ支援活動全国キャンペーンの助成を受け、活動させていただきました。
『つながる輪！お弁当応援企画』、『見守る輪！地域スマイル企画』として
コロナ禍においてもこうすればできる！をモットーにさまざまな取り組みができ
感謝しています♡
入院中だったおじいさんから、「さとみ～！帰ってきたぞ～、退院できたから
お弁当また頼む～」って電話がかかってきたり、お弁当ではなくも、子育てに
自信がなくなって～☹と、子育ての悩みなどお話しにきてくださるママさん。
家にいても、パパもママも仕事でひとりで留守番してるから。。。と
電話をくれる子がいたりもします。
授乳中のママさんからも、子どもたちのご飯はなんとかなくても
自分のご飯となると手が回らないという声や、習い事で忙しい家庭も、
母子家庭でご飯がままならない家庭。
中学生の男の子が受け取りにきてくれて、初めてLINE交換する場面も♪
どんな人でも、つながってほしい、つながれたらなーという想いは多分にあって
たくさんニーズにまた出逢えた活動となりました。
多くのあたたかな募金、企業、団体の皆さまには
心より感謝しております！ありがとうございます♡
継続して、活動していきたいと思っておりますので、
今後ともよろしくお願いたします🙏
(現在、第2弾申請中です)

#北海道共同募金会
#赤い羽根共同募金
#赤い羽根いのちをつなぐ支援活動全国キャンペーン
#社会福祉協議会
#北海道福祉のまちづくりサポーター
#くれよんぽっけ



SNSによる情報発信

サポーターがSNSで「#北海道福祉のまちづくりサポーター」を使用して投稿したものを集めました！

Satomi Yamanaka

2022年11月23日

なかなか投稿できず、ご無沙汰していました。長文になります😊😊😊

北海道共同募金会様の助成金、赤い羽根ポストコロナ、いのちをつなぐ福祉支援活動
全国キャンペーンの助成により、『つながる輪！お弁当応援企画』そして、

『見守る輪！地域スマイル企画』を実施させていただいております。

ご支援いただいた方々には心より感謝申し上げます🙏

10月末、「コロナ禍でもこうすればできる！」と、コロナ禍前のようにはいきませんが、
カタチを変えてハロウィンイベントを開催させていただきました。

小さな小さな界限で50名を超える子どもたちでいっぱいでした。

イベントをともに楽しむおとなたちもたくさんいました。嬉しいことです✦

子どもたちを取り巻く家庭、学校、地域はどんどん変化しつつあります。

それでも小さなことから、子どもたちの育ちを見守り合えるつながりがたくさん増えていくといいなと
思ってこれからも活動していきます。

去年、今年とハロウィンイベントでは、グループホームあかしあさんの駐車場をお借りし、
施設の窓ごしからでもイベントの様子が見れて、入居者の方々にも喜んでいただけるよう
仮装した子どもたちとのあったかい交流もできました😊

写真での投稿にて後日また報告させていただきますね。

また、お弁当応援も継続し行っています。一食のお弁当を通じてたくさんのドラマがあり、
始めた当初からみると地域課題や年齢層も多岐にわたってきました。

今回は、認知症のおばあちゃまとの出会い。

末娘このんと挨拶を交わしたことがきっかけで、困り事をお話しされた。

郵便局さんやケアマネージャーさん、地域包括支援センターさんとの連携をとりつつ、
ご本人との信頼関係を少しずつでも築けるよう度々の電話に耳を傾けたり、お弁当を届けてみたり。

気づけば、おひとりで過ごす時間が寂しいという想いも伝えてくださるようになり😊

ご自身では受け入れがたいだろう、最近のことから忘れてしまうことへの困り事もこぼして
くださるようになりました。

お弁当もお願いしたいというご依頼を受け、ご近所付き合い同様に丁寧に関わっていただけると
思います。

早速、今日はママ友からたくさんいただいた根室産地直送の秋刀魚をおすそ分け♥

焼き秋刀魚にしてもらえたら嬉しい♪と視覚障がいをお持ちのおじいさま、

いつもお世話になっているおばあちゃまにも塩焼きにして大根おろし付きよ～なんて言っておすそ分け
させていただきました😊

いただいたものをおすそ分けできることもまた幸せです♥

たくさんのお魚をくれたママ友も、まだ子どもが小さかった頃からの友だちから送られてきたものだと。
改めて『つながり』って無限で、あったかくて素敵なものだなーと感じます。

昨日は、いつもお弁当をお届けしている視覚障がいをお持ちのおばあちゃまのご自宅で、
固定電話の契約をするにあたり、視覚の役割と手続き上のサポートに4時間ほどともに過ごしました😊

ちょうどパパが休みで、小学生の子どもたちも発表会の代休でお留守番してくれていました。

電話会社さんもまだまだ誰もが契約しやすい環境、仕組みづくりが整っておらず👊

意向を伝えながら今できることに寄り添っていただけるようお願いしてみたり。

身分証明書の写しもFAXで、あるいは郵送で、できればネット接続でというどれをとっても
厳しいものでした。

3丁目ほど離れたコンビニへ代理で身分証明書のFAXをしに外出し手続きすることができました。

代理でお願いと頼まれることもありがたく、嬉しいものです。お弁当でつながっていなければ、
こうして困り事にお付き合いすることもなかったと思います。

誰しものが、ちょっとしたことで「困ってるだけどー」「お願いできるかい？」

と言える相手がいるとは限らず👊

福祉のまちづくりセンターさんや専門職でもなくていいから身近に多くのサポーター(隣人)がいたらなー
とつくづく感じました。

SNSによる情報発信

サポーターがSNSで「#北海道福祉のまちづくりサポーター」を使用して投稿したものを集めました！

手伝いを必要とする側もされる側も、時には逆転することもあり、日頃からのコミュニケーションはいざという時のマンパワー、チームとなっていきます✧限られた資源、支援の中であたたかい『つながり』が広がっていきますように。お弁当応援企画においても、ニーズが増す一方でマンパワー不足😓😓😓解決の策も練りつつ、アウトリーチに努めていきたいものです！

- #北海道共同募金会
- #赤い羽根いのちをつなぐ福祉支援活動全国キャンペーン
- #北海道福祉のまちづくりサポーター
- #くれよんぽっけ
- #札幌市社会福祉協議会
- #地域包括支援
- #子育て
- #家庭福祉支援
- #地域福祉支援



2022年12月18日

我が子のために活動を始めたことが、ママ友やその子どもたちとの活動になり、つながりが生まれていった。気づけば活動が枝分かれしていく。多世代、困り事、地域課題をも、まるっとつながるごく自然なあたたかい仕組みづくり。この醍醐味を多くの人に感じてほしい。やめられないこと。続けていきたいこと。丁寧に✧大事に✧ひとつづつ✧

- #北海道共同募金会 #赤い羽根共同募金会
- #北海道福祉のまちづくりサポーター
- #北海道こども食堂ネットワーク #札幌市子ども未来局
- #社会福祉協議会
- #くれよんぽっけ
- #地域福祉
- #コミュニティワーク
- #脱マニュアル化

SNSによる情報発信

サポーターがSNSで「#北海道福祉のまちづくりサポーター」を使用して投稿したものを集めました！

Satomi Yamanaka

2023年1月11日

懐かしい過去の投稿。
随分と昔のような物語に感じてしまう。
随分と歩いてきたんだなーとしみじみ。
#豊平区社会福祉協議会
#ふれあいいきいきサロン事業
#地域福祉
#子育て
#子育て支援
#生活支援
#こども食堂
#北海道福祉のまちづくりサポーター
#支え合い

Satomi Yamanaka

2019年1月11日

明日、いやもう今日になっちゃったな☺
新年始まったかと思いきや、バタバタとあれやこれやと過ぎ、気づけば10日！！☺☺☺
北海道新聞社さんの毎週発行されているというフリーペーパー（オントナ？）に自主運営サロン（社協さんの助成金頂きながら細々と）の紹介特集かなんかで、何百とあるサロンの中から高齢者サロン2箇所とくれよんぼっけの活動取材したいとの話がいらした年末。
明日いらっしゃることに。
有難いながら、冬休み開催することなかったかも～と振りかえり、新しい！！の呼びかけに取材関係なく、賛同するママたちや子どもたち。
年月を重ねながら、気づけばママたちも働き始めるという中、お留守番の子どもたちいたんだよね。
なにもできなかった。
今回を機に、我が子とマンツーマンきついの👤大変なんだ👤って仲間の思いを生で聞いて大家族だから知らないでいたこと、気づけなかったことたくさん。
カレー作る！！白飯持ってよかったらおいで～ 子どもだけでもいいよ～って宣言した私。
何人来るかわからないけど、カレー食べる人100円笑笑
新しい年。
新たに気づいたこと。
新たにやってみようかなと感じたこと。
亡き恩師やうちのパパは、なんでタダにしないの？言ったし、言ったかもしれない。
でも私がやろうと思って決めただけ♪
もちろん全責任私がね☺
いや、きっと集まるみんなは、責任とかなしに行きたいから行く！
待ってたよって想いもあるかもしれないなあとか。
どんなかわからないけど、サロン（サークル？くれよんぼっけ）？
の名前だけがひとり歩きし始めたのかな。
有難いようなそんなんでもないんだよみたいな、ゆる～い感じなんですよと
担当者さんからの直々のお電話でも伝えてしまった私☺
新年初の活動🌟
いつかの思い出に刻まれるのかな。
有難い。私たちの小さな小さな活動をされている方々、そんな活動をしたいなと思われている方々にとっても色々なカタチで伝わるのなら、拡がっていく意味で札幌市民一員として嬉しいことだなと気づいた私。
何かが始まるじゃなく、始めようと思える力になったらなあと楽しみに思う☺❤

SNSによる情報発信

サポーターがSNSで「#北海道福祉のまちづくりサポーター」を使用して投稿したものを集めました！

Satomi Yamanaka

2022年12月31日

2022年もあっという間でした。皆さんにとってどんな年だったでしょうか？
くれよんぼっけという草の根活動、地域支援団体として北海道赤い羽根共同募金会の助成により
コロナ禍でも様々なカタチで、『つながる輪！お弁当応援企画』『つながる輪！地域スマイル企画』と、
つながる活動をさせていただくことができました♡
家並び5軒の同級生になる子たちとママたちで始まったくれよんぼっけ。
当時まだ幼かった子どものため、そしてつながりたい自分たちのためにと始めた活動が、ご近所大所帯と
なりました。

気がつけば、子どもたちも大きくなり、多世代、たくさんの方々に出逢い、温かさに触れ、
つながりの強さや大切さを今年も一層実感した一年でした。

少しずつではありますが、感染対策に留意しながら集まれるようにもなりました😊

集まることをお知らせすると、親世代を越えて、元高校の先生だった交通安全指導員さんや
おひとり暮らしのおばあちゃまたちのサポートも✦

もちろん、中学生、高校生になった子どもたちも自らお手伝いを気にかけてくれたり✦

みんなが仕事復帰して忙しくなっても、ゆる～く居場所は残したい！

イベントはやろう！という声もあり、一人でも活動を続けていこう！と。

でも決して、それは一人ではなく、いつでも背中を押してくれたり、可能な限り協力してくれたり、

色々な話を聴いてくれたり、気にかけてくれたり。。。たくさんの愛がありました✦

コロナ禍、活動を支えてくださっている赤い羽根共同募金の助成金はもとより、地域課題、個々の
ニーズに携わった際の行政や関係機関の方々とグレーの部分の共有や共働について考え合う機会も増え
感謝しています♡

赤い羽根共同募金の街頭募金の経験をされたことがあるというおばあちゃまと先日、雪路で遭遇しました。
1食多く持参していたお弁当をその方にお渡しすることができた時、こうして人の想いは循環するんだなーと
胸が熱くなりました。大変喜ばれ、雪道声をかけてくれて嬉しかったとおばあちゃま。

『じぶんのまちを良くするしくみ』って、たったひと言から創られたり、小さなことだけお節介の
繰り返し。

たくさんのお出逢いと出来事(ものがたり)や仲間や皆さんが変わらず『ただ居てくれる』ことに感謝しています。

この地域の子供たちは皆さんや多くのおとなたちに日々気づかぬうちに育てられ、見守られています♡

私は、あたたかいこの街が大好きです♪関わってくださっている方々も皆さん大好きです♪

子育てしながら親もともに成長し合い、つながりづくりしながらも一人ひとりの行動や想いがゆっくりでも
人づくり、まちづくりへとつながっていきますように✦✦✦

来年もどうぞよろしくお祈りします🙏

皆さんにとって、幸多き一年となりますように♡♡♡

追伸 年度末には、社会福祉協議会きらり応援助成金により、コロナ禍でのあゆみや地域のつながりに
ついてくれよんぼっけ小冊子を創らせていただく予定です✦

#赤い羽根共同募金 #北海道赤い羽根共同募金会

#ポストコロナいのちをつなぐ福祉活動応援全国キャンペーン

#札幌市社会福祉協議会 #北海道子ども食堂ネットワーク #くれよんぼっけ

#北海道福祉のまちづくりサポーター #地域支援 #子育て支援



SNSによる情報発信

サポーターがSNSで「#北海道福祉のまちづくりサポーター」を使用して投稿したものを集めました！

Satomi Yamanaka

2023年2月25日

ご無沙汰しておりました。

たくさんの出来事があり、投稿追いつかず☺ くれよんぼっけは草の根活動団体。ですが、ゆるくゆるーく平成26年に家並び5軒で立ち上げ、当時のママたちはお仕事を始め、コロナ禍休校に突入。

母ちゃん弁当を作って少しでもお手伝いできることはないだろうか？何もない所からのスタートでした。北海道共同募金会様からの助成情報もあり、助成を受けつながら続ける活動をさせていただいてきました♡

12月末で終了しましたが、つながりは留まることなく、できることをできるだけと細々と☺

地域ケア会議にも出席させていただき、連携させていただいていた方々との初対面も。

東日本フーズ様から60枚のトンカツのご提供いただき、この度はまたたくさんのお弁当を作らせていただくことができました。

これまで必要とされていた方々以外にも、助かった、有り難い、子どもたちが楽しみにしていたという声が溢れていました♡

また、インフルエンザ罹患中だったママさんも子どもたちの食事に手が回らなかったという声もあり、配達した際にはとても喜んでいただけました♡

「やまなかさん、トンカツから始めましょう！」って背中を押してくれたママさん。

「サポーターを集めることからですね！」と張り切って寄り添ってくださるおばあちゃま。

また小さな一歩！新たな一歩！

コロナ禍前からのくれよんぼっけの活動を振り返り、さっぽろキラリ応援助成事業として冊子制作にも取り組ませていただいています。

ずっと支えてきてくださっているさなさんにも感謝です☆

#北海道共同募金会

#札幌市子ども未来局

#北海道子ども食堂ネットワーク

#北海道福祉のまちづくりサポーター

#札幌市社会福祉協議会

#くれよんぼっけ

#地域支援

#心のバリアフリー

#母ちゃん弁当



SNSによる情報発信

サポーターがSNSで「#北海道福祉のまちづくりサポーター」を使用して投稿したものを集めました！

miakey

2022年4月21日

ご興味のある方に届けたい。
これを見て興味を持ってもらえる人がいらっしやったら
さらにうれしい♪
ぜひ気軽にご参加くださいね！
もちろん私も早速申し込みました(*^-^*)

以下、主催者様の言葉をそのままお借りして。

障害当事者で元特別支援学校の教員が教える
『心がバリアフリーになる
障害理解オンラインwebセミナー』
障がい当事者の経験談やワークショップを通して、
障がいについての理解を深めたり、
皆さんが持つ「障がい」のイメージの壁を壊すことで
心のバリアフリー化を実感していただくことを目的
とした体験型のセミナーです。
講師は視覚障害で元支援学校の教員、
現在は福祉教育アドバイザーとして活動されている
杉本梢（すぎもと こずえ）さんです。

【日時】

4月27日(水) 19～20時30分

ZOOMにて行います

【申込方法】

machifukumeeting@gmail.com

上記のメールアドレスに

「参加者名、参加人数、役職」を記入の上、予約
改めて「障がい」について考えてみませんか？

少しでも興味を持った方は是非ともお気軽にご参加
ください！！

皆様のご参加を心よりお待ちしております！

また、お知り合いの事業所様や、通所利用者の方
ご家族様にもご周知いただけますと嬉しいです！
よろしく申し上げます！

ではでは当日、オンラインで心つながりましょ(*^-^*)

#マチ福ミーティング

#北海道福祉のまちづくりサポーター

#心のバリアフリー

#杉本梢さん

#個私にとってアイドルみたいな存在のお方♪

#みんなの福祉



SNSによる情報発信

サポーターがSNSで「#北海道福祉のまちづくりサポーター」を使用して投稿したものを集めました！

miakey

2022年7月15日

思うところがあります。

お仕事を通じて様々なご家族とお会いしてきて、認知症の方がご家族にいても本人も周りもとても幸せそうなケースもあれば、みんな眉間にしわが寄り本人も辛そうだったり暴れてしまったり、そんなご家族も見てきました。

何が違うのか・・・

私が出した答えは

『自然体を受け入れることがみんなにとっての幸せになる』

ということ。

この週末、答え合わせに行ってくださいと思います。

地域の方、利用者のみなさんのことを想う気持ちを、時に『公開講座』というかたちでも表現されている『優月舎』さんが企画されたこの講座。多くの方に知っていただきたく、広報のお手伝いを少しばかり。

≪第2回 優月舎 地域公開講座
『地域で支える認知症の方と家族』≫

日時：7月16日（土）14時～（開場13時半）

場所：もみじ台管理センター

（札幌市厚別区もみじ台北7丁目1-1）
大会議室

入場料：無料

※お電話、FAXにて事前にお申込みください
（入場可能人数：40名）

※申込先は投稿画像のチラシ参照のこと

あなたにも、今が身近な問題ではなかったとしても聞いていただきたいお話し。
先に学んでおくことこそとても大事なお話し。

開催迫ってきておりますが、今からでもお申込み、されませんか？

#厚別区

#もみじ台

#高齢化率問題

#独居問題

#北海道福祉のまちづくりサポーター

#心のバリアフリー

#認知症

#認知症と家族

#助け合おう

#無理はしなくていいから

#一人じゃない



第2回 優月舎 地域公開講座

地域で支える認知症の方と家族

高齢化率が50%に届きつつあるもみじ台地区。特にもみじ台団地は多くが独居、高齢世帯で、自治会やご近所の助け合いも年を過って厳しくなっています。
長きにわたり、認知症の方とご家族を支援している岡田京子氏に、その実践と方法を語っていただきます。

講師紹介 岡田京子氏 看護師

- 神奈川県の脳血管センターで脳卒中のリハビリ看護を学ぶ
- 札幌に移住し、訪問介護、訪問看護を経て、精神科クリニックで一般型デイサービスを開業、10年間運営
- 百年性認知症の家族に後押しされ起業し、認知症対応型デイサービス いろどり を7年間運営
- 特定非営利活動法人 北海道若年認知症のひとと家族の会 理事
- 北海道各地で「認知症のケア」の講演活動実施
- 共著「若年性認知症の人の日常生活を支えるガイド」（発行：特定非営利活動法人 北海道若年認知症のひとと家族 2017/2022）

お電話、FAXにて事前にお申し込みください

日時 令和4年7月16日(土)13時30分開場 14時開始
場所 もみじ台管理センター大会議室
厚別区もみじ台北7丁目1-1

入場可能人数 40名 **入場無料**
お申し込み先 優月舎 小規模多機能ゆうづきもみじ
生活介護相談室ゆうづき 大沢

連絡先 ☎ 802-9007/9008 📠 802-9012

SNSによる情報発信

サポーターがSNSで「#北海道福祉のまちづくりサポーター」を使用して投稿したものを集めました！

hanazono celica

2022年7月13日

北海道福祉のまちづくりサポーターの華園せりかです。

今回ご紹介するのは

「ホテルリソルトトリニティ札幌」様
大通駅近くで宿泊先を決めたのですが、
特に事前をお願いしたわけではないのですが、
お部屋がバリアフリーだったのです。
部屋に到着したら、まず一通り室内を見てみる
のは私だけではないはずですよ。
浴室が広めだなあと思ったら、トイレに手すりも！
立てて収納することもできます。
もちろん壁側にも、浴槽にも手すり付き。
室内の段差もありません。
車椅子での宿泊もできそうです。

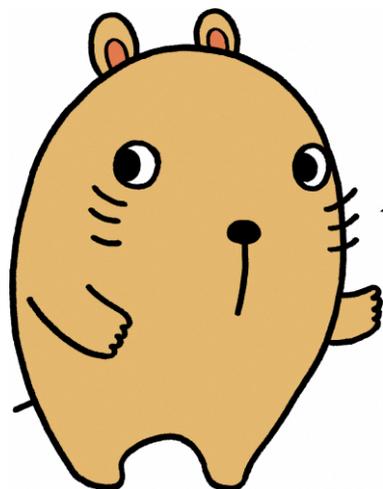


ホテルの方に聞いてみたところ、
バリアフリー仕様のお部屋は、全室ではないですが、
対応しているお部屋も一部あるということでした。
車椅子対応の宿泊施設をお探しの方
ご参考になりますように。



ホテルリソルトトリニティ札幌様は、
入り口からフラットで、車椅子はもちろん、
ベビーカーに、キャスター付きケースを
お持ちの方にも優しい宿泊施設だと思います。

- #北海道福祉のまちづくりサポーター
- #バリアフリー旅行
- #ダイバーシティー
- #ホテルリソルトトリニティ札幌
- #車椅子対応ホテル
- #バリアフリーのホテル



サポーターのみんなが
たくさん投稿
してくれました！

地域での活動

サポーターが、道に情報提供した活動状況を紹介します！

星槎道都福祉 & 上原正希

2022年4月～7月2日

- ・活動内容
障がい児者への夏祭り事業の企画・事前準備とイベントの開催
- ・会場
北広島市社会福祉協議会

2022年4年5月～9月11日

- ・活動内容
北海道・芸術文化の祭典in北広島市における、祭典の企画・運営会議に参加、また当日の運営を担い、祭典のホームページの立ち上げ・運営・管理
- ・会場
企画運営会議は大会長の自宅、祭典は北広島市芸術文化ホール



2022年9月25日

- ・活動内容
Fビレッジ建設地を歩こうwithファイターズあしあと基金での、イベント広場でのスポーツ体験コーナーの準備・運営
- ・会場
北広島レクの森



地域での活動

サポーターが、道に情報提供した活動状況を紹介します！

星槎道都 福祉 & 上原正希

2022年10月11日

- ・活動内容

北海道北広島西高等学校での福祉交流会ボランティア、北広島高は入学後に1年生全員が福祉のことを学ぶことになっており、事前に福祉について学び、その後、北海道リハビリに見学に行き、その後、高校の図書館で、高校生のクラス代表と北海道リハビリ職員、大学生でグループワーク、意見交流会。



2022年11月12日

- ・活動内容

子どもの権利10周年記念シンポジウムでの、子ども遊び場「人権コーナー」の運営

- ・会場

北広島市芸術文化ホール



2022年11月1日

- ・活動内容

広島市社会福祉協議会ボランティアセンターだより「じゃがいも」23号の発行における情報および写真の提供・作成

- ・会場

北広島市社会福祉協議会

2022年11月18日

- ・活動内容

児童虐待防止活動「学生によるオレンジリボン運動」を開催

子ども虐待に関する知識を深め、子ども虐待問題に関する理解を深めてもらう契機とするため、掲示物の掲示を実施し、市民に周知した。

- ・会場

北広島市芸術文化ホール



2022年11月18日

- ・活動内容

高齢者・障がい者「バーチャルボーリング」掲示物の展示、高齢者・障害者に対する、運動作りである任天堂wiiにおける運動作りについて周知した。

- ・会場

北広島市芸術文化ホール

地域での活動

サポーターが、道に情報提供した活動状況を紹介します！

星槎道都福祉 & 上原正希

2022年8月～12月4日

- ・活動内容
障がい児者へのクリスマス会の企画・事前準備とイベントの開催
- ・会場
北広島市社会福祉協議会

2023年1月11日～14日

- ・活動内容
ユネスコカレンダー市の選別・値札付け・販売・準備・撤収
- ・会場
北広島市役所・北広島駅エルフィンパーク



【サポーターの声】

星槎道都大学社会福祉学部の学生が、大学がある北広島市をベースに児童、障がい児者、高齢者などに対し、ボランティアで直接および間接的なアプローチを行った。
これからの経験は、今後の実習や専門職になった際に、また地域住民の一人としても役立つと思われる。

企業組合グループ・ダイナミックス総合研究所

【サポーターの声】

登録したばかりなので、特別に取り組んだ事例はありませんが、当組合は、北海道介護サービス情報公表指定調査機関・北海道地域密着型サービス外部評価機関・外国人介護技能実習評価試験機関・北海道福祉サービス第三者評価事業を業務としており、特に第三者評価や地域密着型サービス外部評価等で施設へ訪問評価に伺った際に、地域との関わり項目について、常々助言をしています。

年間40～50件程度ですが、施設の資源の地域への開放と地域資源の活用をいつも提案しております。例えば、町内会や老人クラブ、札幌市内では街づくりセンター、民生委員、地域包括支援センター、社会福祉協議会など各地域の地域資源との相互の交流を進めるよう進言しております。

事業所によっては、昨今はコロナ禍により活動は停滞しておりますが、飲食店等の商店会との交流が盛んな地区も発生しております。

また、当組合はNPO法人シーズネットの会員でもあり、アクティブシニアの活動も支援しております。今後も引き続き地域との関わりの提唱を推進してまいります。

地域での活動

サポーターが、道に情報提供した活動状況を紹介します！

大沼 英明

2022年4月20日

【わくわく広場】

地域の会館の運営委員会のイベントで、「人生は面白い～占いと趣味を楽しむ」をテーマに講習を実施しました。

令和4年 4/23

春の柔らかな日差しと「和顔堂」モットーの4月20日、わくわく広場は、松屋英明1町内の大沼英明さんが趣味の占いや手相運勢と楽しい時が流れる多趣味も披露する。身近な方なので気軽に声をかけご利用を！ボランティアの美味しいコピーも好評！

ケアラーを全廃 活性化

栗山町の昨年条例「地域サロン」活動費助成

・松風会館の活動取組みが、道新の空知版に大きく紹介されました。これから様々な私たちの/地域ヶアラ活動が目ざされてます...

お待ちだせ！改めて、5月1日(日)【わくわく広場】お知らせ！

春です！
くわくわくラジオの魅力

その次の案内は！

5月10日(火)
午前10時～11時30分
午後1時～2時30分

我々が栗山赤十字病院スタッフ「暮らしの悩み、感謝状受け」手洗い体操、美味しい非常食、定・焼酎、など、協力を！

松風会館 運営委員 活動が中心
栗山町 地域ヶアラ活動費助成

ラジオショー
午前10～11:30
栗山にFMラジオ局誕生
まちがみんなが元気にする
「深澤雅一さんのフリートークとギター生演奏」
コミュニティ放送局プランナー
栗山の新しい魅力づくり

栗山町が昨年条例「地域サロン」活動費助成

ケアラー交流 活性化

【栗山町】地域の活性化を促す「ケアラー」を推進する活動の一環として、栗山町コミュニティセンターで「ケアラー交流」イベントが開催された。町民の交流を促進し、地域の活性化を図る。講師は、情報交換の場として、町民の交流を促進し、地域の活性化を図る。講師は、情報交換の場として、町民の交流を促進し、地域の活性化を図る。

講演・雑談：情報交換の場

米ボカテロ市へ中高生派遣

【栗山町】米ボカテロ市へ中高生派遣。栗山町立高校の生徒が、米ボカテロ市へ派遣された。生徒たちは、米ボカテロ市の文化や風景を体験し、地域との交流を図る。派遣期間は、5月10日から15日まで。派遣先は、米ボカテロ市の観光協会。派遣先では、米ボカテロ市の文化や風景を体験し、地域との交流を図る。

サケ

【栗山町】サケの養殖。栗山町のサケの養殖が盛んに行われている。養殖業者は、サケの養殖を通じて、地域の活性化を図る。養殖業者は、サケの養殖を通じて、地域の活性化を図る。

自閉症者を支えよう「あっぷる」

2022年度 月1回

- ・活動内容
心と体の健康エクササイズを実施しました。

2022年12月

- ・活動内容
七飯町文化センターでお楽しみ会実施

2023年1月

- ・活動内容
お菓子・4種類のマフィン作り



心と体の健康エクササイズの様子

【サポーターの声】

私たちは七飯町で自閉症がある子ときょうだい、その家族（主にお母さん）が、みんな一緒に集まって地域であそび、親同士が集い学び情報共有しながら15年以上活動を続けてきました。

現在、子ども達はみんな学校を卒業し大人になりましたので活動内容を大人向けにしようと計画しております。しかし、まだコロナの状況が落ち着かない為、活動に参加できない人も多いです。

そのような会員さんにはメールやお電話で連絡を取り合って安否を確認していました。

このような状況から活動に参加できる顔ぶれが固定化しておりますが、少しでも笑顔になれるだけでいいと感謝しながら活動し続けます。

地域での活動

サポーターが、道に情報提供した活動状況を紹介します！

ケアハウスさつき園

2022年6月～10月末

活動名称 さつきレンジャー

活動内容 近隣の小学校の登校の見守り活動を実施
近隣の小学校の花壇の清掃活動を実施

活動メンバー さつき園入居者様



2022年 春～秋

活動内容 近隣の保育園、児童会館の畑の管理活動

活動メンバー さつき園入居者様



地域での活動

サポーターが、道に情報提供した活動状況を紹介します！

ケアハウスさつき園

2022年10月

活動内容 近隣の保育園や小学校等に米袋で作成したソリ（米ぞり）を作成しプレゼント。
令和4年度は合計で300枚
寄贈先：保育園（認定こども園含む）4施設、小学校1校、児童クラブ1施設
活動メンバー さつき園入居者様



2022年度 月1回

活動内容 近隣の児童会館で小学1年生に絵本の読み聞かせをおこなう。また、昔ながらの“いろはかるた”を大型で手作りし、小学生に“昔遊び”や“ことわざ”に楽しく触れる活動を実施。
活動メンバー さつき園入居者様



地域での活動

サポーターが、道に情報提供した活動状況を紹介します！

ケアハウスさつき園

2022年12月

活動内容 地域で開催されるふれあいサロン（乳幼児用）で手作りのプレゼントをサンタクロースとなり配る。

活動メンバー さつき園入居者様



【サポーターの声】

入居者様と一緒に活動すると、活動先の子どもたちから「〇〇おばあちゃんだ〜」「〇〇おじいちゃん、あいたかった」と子どもたちから声がかかり、入居者様が椅子に座っていると、自然に入居者様の膝の上に座ります。また、あるときの活動では参加した入居者様の中に目的の“おばあちゃん”が参加されていなかったとき、活動先の子どもから「〇〇おばあちゃんに会いたかった。」と職員に声がかかります。

活動を継続的に行うだけでなく、年間を通じて交流を積極的に行うことで、活動先の子どもたちが入居者様の名前を覚え、親しみをもって接してくれる姿を感じることができました。

さつき園ではボランティア活動をしている入居者様にとって地域の中での「役割」「役目」となり、「必要とされている」ことを実感し、「生きがい」につながることで、「元気でいなければならない理由」となり、高齢者のフレイル予防やQOLの向上に役立っていると感じております。

少子化が進む丘珠の地域を高齢者の力でより住みやすい地域となり、高齢者も元気になる地域を目指し、今後も高齢者の生活支援施設として、さつき園は活動を続けていきたいと思っております。

地域での活動

サポーターが、道に情報提供した活動状況を紹介します！

株式会社 世界紀行

2022年10月

社内営業所内に、来訪者が駐車場やタクシーまでに利用する車イスを設置しました。



高橋 舞

活動内容

4月21日

Instagramにて『心がバリアフリーになる障害理解オンラインwebセミナー』のご案内を投稿
(セミナー開催日4月27日)

7月16日

第2回 優月舎 地域公開講座『地域で支える認知症の方と家族』について、
事前にInstagramで告知のお手伝いの上、当日は自身も受講させていただく。

12月17日

福祉をテーマにしたイベント『マチ福ミーティング』運営に関わらせていただく。
また、社として会場をご提供。

2月21日

北広島市の市民シンポジウムに主催の方のつながりで参加させていただく。
令和5年度5月の事業『広がれ！心のバリアフリーIn札幌パラコレクション』のチラシをイベント
などで配布協力。

【サポーターの声】

本当はもっと多くの福祉に関わるやさしいまちづくりに触れてきたのかと思いますが、私には当たり前になりすぎていて気付いていないこともあることに気づかされました。
次年度はもう少し、『より多くの方に知っていただく』ことを意識し、活動を活発にできたらと思います。

地域での活動

サポーターが、道に情報提供した活動状況を紹介します！

田中 孝博

2022年10月26日

【高齢者疑似体験授業 北光小学校】

北光小学校5年生に対して、北海道作業療法士会から福祉教育アドバイザーとして依頼のあった高齢者疑似体験授業の講師の補助を担当しました。

動きづらくなると、視野が狭くなるとどうなるのか、というところを高齢者体験キットで40名全員に体験してもらいました。コロナ過でキットの使用に制限がありましたが、いつも当たり前に行っていることができなくなるということを少し体感してもらうことができました。



2022年11月17日

【「福祉について」の授業 札幌市立平岡緑中学校】

札幌市立平岡緑中学校の2年生を対象とした総合的な学習の時間、テーマ「福祉」の中で、福祉教育アドバイザーとして「福祉について」の授業を担当しました。対象は2年生114名で、体育館で全員に向けた講義を行いました。終了後のアンケートでは、障がいを持った方だけでなくどんな人でも暮らしやすい社会になることが「福祉」として大事な考え方だということや障がいを持った方達も同じように社会でくらす一員であること、日本はまだまだ障がいを持った人達と接する機会が少ない社会であるということなど、について少しでも理解ができたという感想が多くありました。



2022年12月1日

【「肢体不自由」についての授業・体験 札幌市立平岡緑中学校】

札幌市立平岡緑中学校の2年生を対象とした総合的な学習の時間、テーマ「福祉」の中で、福祉教育アドバイザーとして「肢体不自由」をテーマとした授業を担当しました。対象は2年生の中から「肢体不自由」をテーマとした21名でした。

肢体不自由というテーマではありましたが、身体障がいに関する講義と動画、体験を中心に行いました。

前回よりもテーマが絞られていたため、環境整備だけでなく心のバリアフリーが必要という話も交えながら行いました。

終了後のアンケートでは学生さんが障がいを持った方たちと接する機会がないという記載が多く、そのことが障がいを持った方たちを身近に感じづらい一員なのではないかと実感しました。



地域での活動

サポーターが、道に情報提供した活動状況を紹介します！

田中 孝博

2022年12月17日・18日

【「就労支援フォーラムNIPPON 2022」配信にて参加】

障がい者就労について話し合われる就労支援フォーラムNIPPON 2022へWEBにて参加しました。障がい者雇用の現状や工夫と、以前よりも雇用率は増えているがまだまだ課題となることが多いということや当事者の方の切実な思いなどについて学ぶ機会となりました。

2023年2月18日

学校オープンキャンパスにて、障がい者用スイッチやアイトラッカーの操作体験を参加者に対して行いました。

スイッチやアイトラッカーに対する反応はとても良かったです。アイトラッカーについてはALSの講義とセットで行ったのですが、ALSという病気で苦勞している人たちがいるということについても聞いたことがないというような参加者が多く、ここでもまだ通常の小中高出身の学生は障がいの方々と接する機会やその理解は進んでいないということを感じました。

【サポーターの声】

福祉教育アドバイザーとして、小学校・中学校で体験授業や講義などを担当しましたが、障がいを持った方たちに接したことがないという生徒さんがほとんどでした。

中学校でのアンケートでも接したことがないから見かけてもどう接していいのかわからなかったというような意見が多くみられていました。

心のバリアフリーを普及していくためには、障がいを持った方々も社会でくらしていて、自分たちと変わらないんだということを体感できるような経験が大事なのではないかと感じました。

他の小中学校でもこのような授業や接するような経験の場があることが心のバリアフリー普及につながっていくのではないかと感じました。

就労支援フォーラムにおいても、障がい者雇用の定着には企業側の理解が重要という話もでていました。私も職場に交通事故で高次脳機能障害を負った方が復職するという経験をしましたが、その時も他職員の障がい理解が不十分でトラブルになる場面がありました。

これもやはり障がいというものに対する教育や接する機会が少ないという所から起きていることだと思えます。

そのため、北海道での福祉のまちづくりサポーターによる心のバリアフリー推進はこれからますます重要になると感じており、今後はもっと貢献できるように頑張っていきたいと考えています。

地域での活動

サポーターが、道に情報提供した活動状況を紹介します！

新谷 光人

2022年5月23日

あらやみつひと行政書士事務所HPのブログに掲載し、公開しました。

<https://araya-n3.sky-office.jp/>

あらやみつひと行政書士事務所

お気軽にお問い合わせください

TEL 090-8635-8485

HOME	代表プロフィール	受注実績・取扱業務	事務所アクセス	ブログ	お問合せ
------	----------	-----------	---------	-----	------

ブログ「あどみに四通八達」

HOME > ブログ > 未分類 > No.15 北海道福祉のまちづくりサポーターに登録しました！

No.15 北海道福祉のまちづくりサポーターに登録しました！

投稿日：2022年5月23日 | 最終更新日時：2022年5月23日 | カテゴリー：未分類

北海道地域福祉課が実施している「福祉のまちづくりサポーター」は、福祉のまちづくりに興味、理解、熱意を持つ道民で、心のバリアフリー推進に関する活動ができる方は誰でも登録することができます。活動は日常生活で気づいた優良事例を自身のSNSで情報発信するなどです。

札幌市職員在職中は、東区保健福祉部長及び清田区長として福祉施策に関与しました。特に清田区長時代は、区内のすべての授産施設を訪問し、様々なご要望の実現に微力ながら取り組んできたつもりです。

中でも思い出にあるのは、前職の交通局事業管理部長時代に新たに障害者団体に発注した「地下鉄各駅の当直施設のベッドメイクの仕事」を受注している障害者団体に遭遇したことです。知的障害のある方を中心とする作業チームが地下鉄で各駅を順次移動して、駅事務室の奥にある「秘密の場所」のような当直室のベッドメイクをしてくる仕事は、団体の施設長の方によると、皆さん大変な働く喜びを感じてくれているとのことでした。

・・・まさに偶然の出会いながら、「その仕事、最初に発注したのは私です」そんな会話から大いに懇親を深めることができました。

福祉のまちづくりは、日ごろからの小さな気づきが大切です。これからも「みんなが暮らしやすい『まちづくり』のために」(サポーター制度のキャッチコピー)活動していきたいと思っています。

福嶋 柳之丞

【サポーターの声】

自宅近郊でゴミ拾いのボランティアを行っている。

まだあまり大きな活動をできていないので、次年度は様々な活動に参加したい。